Creative Enzymes®

セルビブリオ・ジャポニクス由来のラムノガラクツロン酸リラーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-1565

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ラムノガラクツロン酸リラーゼは、エンド-1,4-α-ラムノガラクツロン酸リラーゼです。この酵素は、次の化学反□を触媒します：ペクチンの分岐毛状領域におけるラムノガラクツロン酸Iドメインの L-α-ラムノピラノシル-(1->4)-α-D-ガラクツロン酸結合のエンドタイプ除去切断を行い、還元末端にL-ラムノピラノースを、非還元末端に4-デオキシ-4,5-不飽和D-ガラクツロン酸を残します。
別名	エンド-1,4-α-ラマノガラクチュロナーゼ; EC 4.2.2.-

製品情報

種	セルビブリオ・ジャポニクス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および 25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 4.2.2.-
分子量	79.6 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	0.5 mg/mL
最適pH	9.0-10.0
最適温度	45 °C
特異性	ラムノガラクツロン酸

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。